

いいことか、わるいことか、
わからんのー



AtelierMimulus

おはなし・え まっちゃん

とある ^{むら} 村に、 ^{たろう} 太郎 という ねずみ が いました。

^{たろう} 太郎の いえの よこには、 ^{おお} 大きな ^き りんごの木 が ありました。

その りんごは とても おいしくて、 ^{むら} 村でも ゆうめい でした。



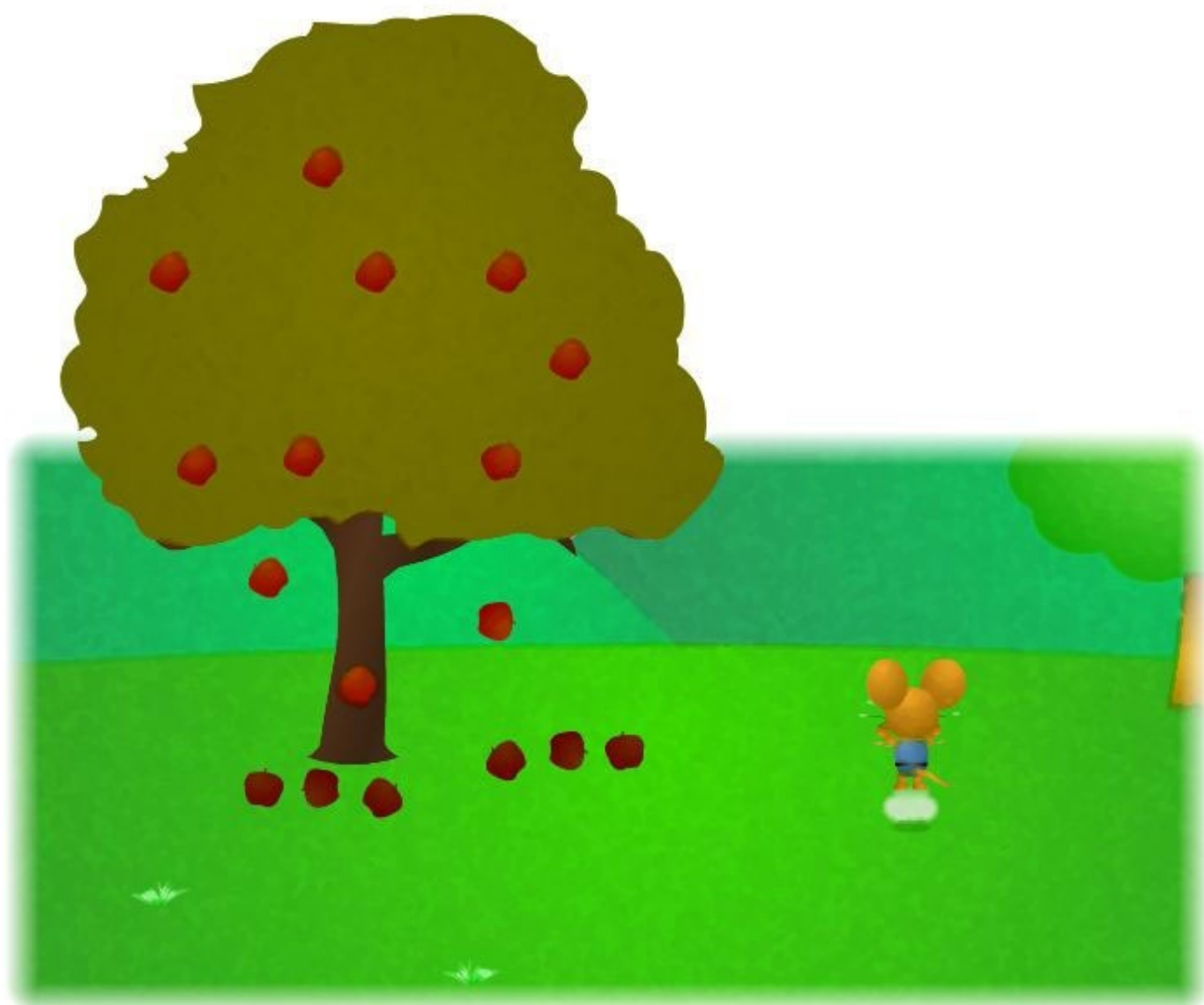
ある日、太郎はいつものようにりんごを食べていました。

ところが、その日はりんごがおいしくありません。

ふしぎにおもった太郎が、りんごの木を見上げてみると・・・



つぎから つぎへと りんご が くさって おちてきました。
りんごの木 も どんどん かれていき、
とうとう きえて なくなっていました。



たろう 太郎は あわてて、むら 村の ちやうろうさま 長老様の ところに

そうだんに いきました。

たろう 太郎の はなしを きいた ちやうろうさま 長老様は…



「それは いいことか、わるいことか、わからんの一」

と、こたえました。

たろう 太郎には ちよろうさま 長老様の はなしが よく わかりませんでした。



「りんごの木が ^きかれてしまったのに、

いいことの ^{はず}がない。

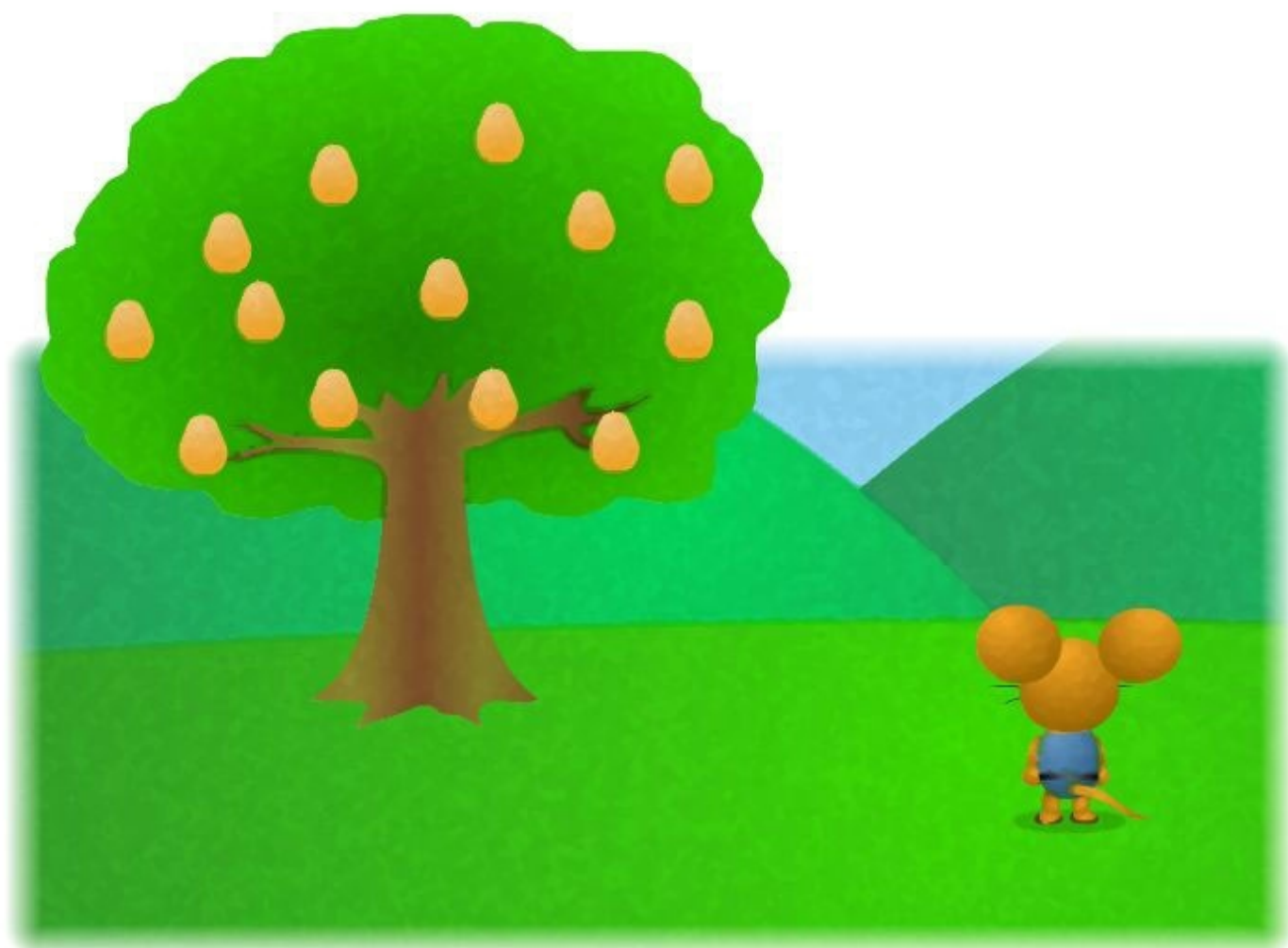
^{ちやうろうさま}
長老様は、どうか してしまっただんだ！」



しばらくあるくと、^{たろう}太郎は
きれいにひかった、ふしぎなたねを^み見つけました。



いえに かえった ^{たろう}太郎は、
ふしぎな たねを、りんごの木が ^きあったところに うめてみました。
すると、ふしぎな木は ^きどんどん ^{おお}大きくなって、
ひとぼんで ^{おお}大きな木に ^きそだち、^{おお}大きな ^み実を つけました。



^{たろう}太郎は さっそく ふしぎな ^き木の^み実を たべてみました。
ふしぎな ^き木の^み実は、りんご よりも とても おいしくて、
ほっぺたが おちそうになる くらい でした。



たろう 太郎は あわてて、ちやうろうさま 長老様の ところに

ふしぎな き み 木の実のことを ほうこくに いきました。

たろう 太郎の はなしを ちやうろうさま きいた 長老様は…



「それは いいことか、わるいことか、わからんの一」

と、こたえました。

たろう 太郎には ちやうろうさま 長老様の はなしが よく わかりませんでした。



「りんごよりも おいしい 実^みのなる 木^きが はえたのに、

わるいことの はずがない。

ちやうろうさま
長老様は、どうか してしまったんだ！」



いえにかえった ^{たろう}太郎は…

あまりのことにびっくりしてとびあがりました。



ふしぎな ^{おお}大きな木が たおれて、

^{たろう}太郎の いえは ペシヤンコに つぶれていたのです。

^{きょう}今日から ^{たろう}太郎は、ねるところが なくなって しまいました。



たろう 太郎は あわてて、 ちよろうさま 長老様の ところに

いえが つぶれて しまった ことを ほうこくに いきました。

たろう 太郎の はなしを きいた ちよろうさま 長老様は…



「それは いいことか、わるいことか、わからんの一」

と、こたえました。

たろう 太郎には ちよろうさま 長老様の はなしが よく わかりませんでした。



「いえが つぶれて しまったのに、

いいことの はずがない。

ちよろうさま

長老様は、どうか してしまったんだ！」



たろう
太郎は、しかたなく

きょう
今日は どうくつで ねる ことに しました。

たろう
太郎の いえは、つぶれて しまったので
しかた ありません。



^{たろう}太郎は つかれていたのて、すぐに ねむってしまいました。

^ひその日の よる、

^{たろう}太郎が ねている あいだに、そとでは すごい ^{あめ}雨が ふりました。



^{たろう}太郎が おきる までに、^{あめ}雨は すっかり やんでいました。

^{たろう}太郎は グッスリ ねむっていたので、

^{あめ}雨が ふったことに きづいて いない ようです。



とりあえず、いえにかえった たろう 太郎は、

またまた

あまりのことにびっくりしてとびあがってしまいました。



きのうの ^{おおあめ}大雨で、^{たろう}太郎の いえの あった まわりは、
まるで ^{いけ}池のように ^{みず}水に つかってしまっていました。
もし、^{たろう}太郎が ゆうべ いえで ねていたら、
おぼれて しまっていたかもしれせん。



たろう
太郎は また、 ちょうろうさま 長老様に

そのことを ほうこくに いきました。

ちょうろうさま
「長老様、 こんどの ことは

いいことですか？ それとも わるいことですか？」





すると ちやうろうさま 長老様は、
じぶん 「自分を しんじて あるきなさい」
と、 いました。

たろう
太郎は、 こんどは
ちやうろうさま
長老様の はなしが、
すこし わかったような
き
気が しました。

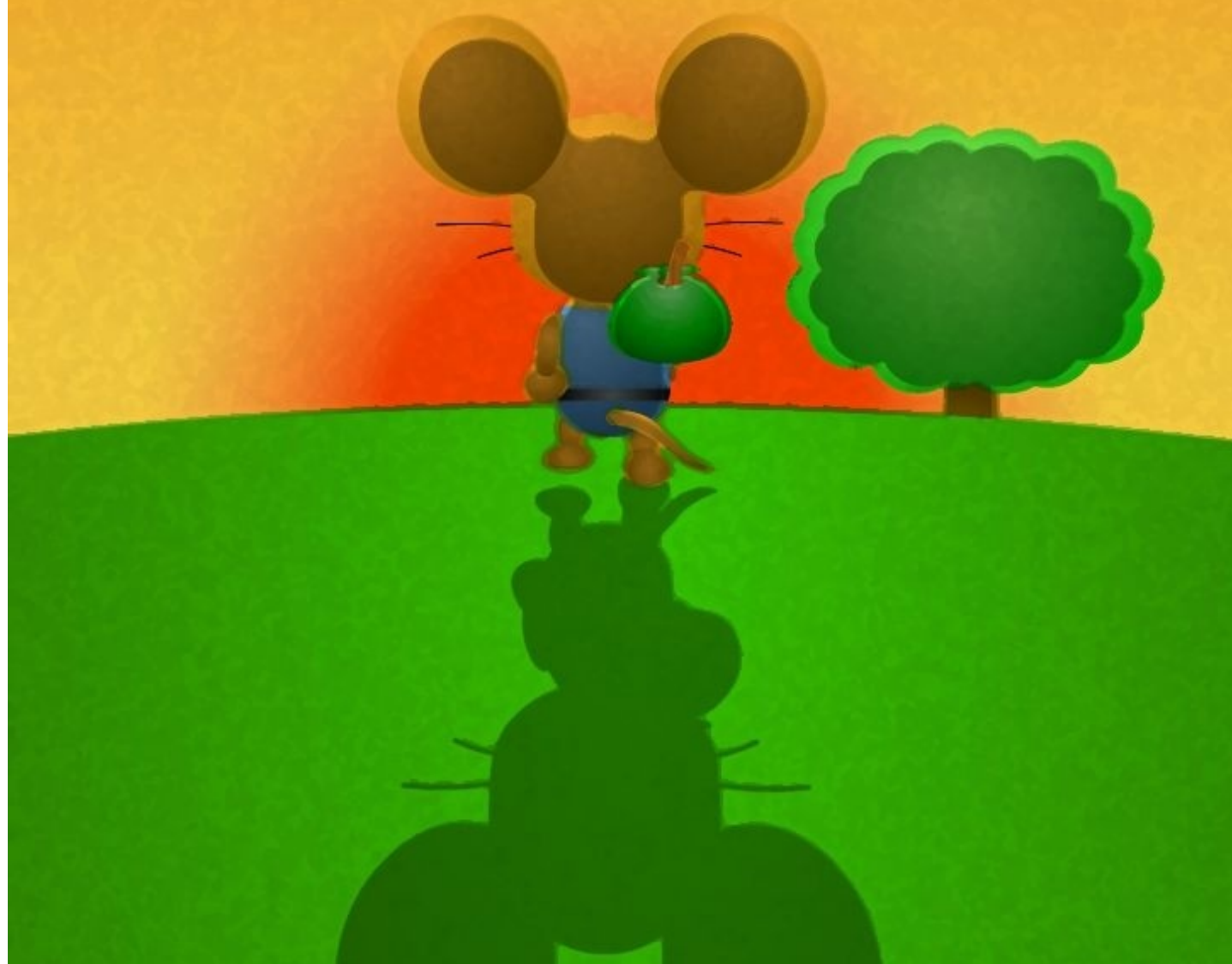


そして ^{たろう}太郎は、たびに できることに しました。

^{たろう}太郎の この たびだちは、

わるいことの はじまり でしょうか？

それとも、いいことの はじまり なの でしょうか？



おわり



作者 ホームページ
[動く絵本ニコニコ村](#)

いいことかわるいことかわからんのー
原作 [動く絵本「ラッキー！？たろう物語」](#)

いいことかわるいことかわからんのー
原作 [動く絵本「ラッキー！？たろう物語」読み聞かせバージョン](#)